

議事概要記録

開催日時	平成 25 年 5 月 11 日 13:00～14:45	開催場所	済生会和歌山病院 7 階会議室
会議種別	平成 25 年度和臨技第 2 回理事会	議 長	竹中 正人
		書 記	田中 規仁
出席者 〈敬称略〉	玉置 達紀、畑 忠良、竹中 正人、大石 博晃、田中 規仁、木下 博之、 蓬台 克之、脇村 小津江、須賀 洋、瀧谷 雅彦、瀧口 良重、今西 数彦、 丸澤 佳子、村田 正吾、勝山 浩樹 15 名		
欠席者 〈敬称略〉	田中 久晴、栗林 伴有、 2 名	オブザーバー	
次 第			
議事概要	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会長報告 2. 常務理事会報告 3. 事務局報告 4. 学術部報告 5. 経理部報告 6. 各種委員会報告 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 公益事業活動 (イ) 定款・渉外 (ウ) 精度管理 (エ) データ標準化 (オ) 会誌編集 (カ) ホームページ (キ) 会報 7. 連盟 <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 事務局から 2. 定期総会について 		
決議事項 及び 継続事項	<p>冒頭 会長から挨拶があった。</p> <p>報告事項</p> <p>◎常務会報告 ○定款細則 総会議事録署名人の削除について 定款細則第 16 条の 2 総会役員は、資格審査委員 1 名、書記 2 名を正会員の 中から選出する。 に変更した。 一般社団法人和歌山県臨床検査技師会 定款第 19 条（議事録） 会員総会の 議事については、法令の定めるところにより、議事録を作成する。 2 議長及び出席した理事は、前項の議事録に記名押印する。 より、議事録署名人が必要でなくなったため、検討委員会にて審議の結果、承認 された。理事会にて認後されたため 5 月 11 日から施行、今年度の総会より議事 録署名人を指名しない事となった。</p>		

○一般社団法人和歌山県臨床検査技師会会員旅費規定（宿泊費）について
第9条 2

用務上の必要又は天災その他やむを得ない事情が生じた場合に限り、会務日の前泊または後泊を認める。

第10条 2

用務上の必要又は天災その他やむを得ない事情が生じた場合に限り、会務日の前泊または後泊を認めた場合に行動費として支給する。

それぞれの別表にうたわれたとおり、整合性を保つために文章を整えた。

○会員旅費規定に関する運用内規（新規制定）

講師謝礼に関する運用内規についての原案を検討したとの報告があった。理事会で承認されたので、5月11日制定、即日施行となった。

○講師謝礼に関する運用内規（新規制定）

講師謝礼に関する運用内規についての原案を検討したとの報告があった。理事会で承認されたので、5月11日制定、即日施行となった。

（以上 定款検討委員会報告）

選挙に関して、和臨技は全面的に米坂候補を支援していく事となった。

◎会長報告

日臨技関連について、25日に総会がありますので出席します。24日には政治連盟執行委員会があり、脇村執行委員の代理として出席します。

近畿支部関係について、近畿支部幹事会・近臨技理事会が7月20日に開催されるが、和臨技理事会・学術部合同研修会と日程が重なっているため、会長のみ出席し、和臨技理事会は竹中副会長に会長代理をお願いします。

他団体関連ですが、6月19日に病院協会学術大会の第1回運営委員会に出席します。

7月2日に平成25年度「知事とメデイカル・スタッフ団体及び病院協会会長との懇談会」「平成25年度医療政策」について竹中副会長と共に出席する予定です。

◎事務局報告

総務

4月24日に日臨技より日臨技総会議決権行使書の回収要請があった。

4月末日付けで特定非営利活動法人日本心電学会より認定心電検査技師更新に関する申し入れ（地方技師会勉強会で履修申請出来るように、研修会登録申請を心電学会にするように）が和臨技にあった。しかし、日臨技の考え方と若干の温度差があり、和臨技としてももう少し情報収集いたします。

<補足>

元々は日臨技と心電学会と共同して認定心電技師制度を作り上げたが、文章を見る限りは袂を分かつような流れになっており、和臨技としても判断に苦慮している。

また、心電学会より年度毎の履修申請指示が有資格会員個人にあったため、会員が困惑している。和臨技としても安易に心電学会からの申し入れを今の段階で（日臨技と足並みを揃える必要性から）受け入れる事は出来ない。

5月1日 糖尿病認定更新に関する申し入れが和臨技にありました。会長名入りの学会・研修会等の参加証明書で資格更新が可能となります。

他団体から、一般社団および公益社団への法人移行の挨拶と、県関連の人事異動報告がありました。

総会関連

執行部任命総会役員とし、議長団に和医大病院・中村好伸副技師長、橋本市民病院・上田和義技師長を、資格審査委員に済生会和歌山病院・久保光史主任技師、書記には和歌山労災病院・榎本菜那技師および琴仁会石本病院・小早川ゆか技師を事前任命しました。議事録署名人について定款上必要なしとの事により、今年度は任命しておりません。

なお、議案書の中には議事録署名人指名の掲載がされているので、総会冒頭に事務局から必要がない旨の説明をします。

総会委任状は会員 342 名中、総会委任状は 260 通以上の提出があり、総会は成立します。

◎学術部報告

学術部研究班の変更について報告があった。

免疫血清班班員

辞任 藤井 一貴 (和歌山県立医科大学附属病院)

就任 田端 純 (橋本市民病院)

免疫血清精度管理委員

辞任 藤井 一貴 (和歌山県立医科大学附属病院)

就任 久保 光史 (済生会和歌山病院)

総合管理班班員

辞任 金田 健司 (和歌山労災病院)

就任 水口 尊博 (和歌山生協病院)

総合管理精度管理委員

辞任 金田 健司 (和歌山労災病院)

就任 水口 尊博 (和歌山生協病院)

細胞病理班精度管理委員

辞任 真谷 亜衣子 (日本赤十字社和歌山医療センター)

就任 杉野 翔太 (社会保険紀南病院)

源泉徴収について

和臨技会員以外の源泉徴収税マニュアル運用開始を班長に指示したが、経理部から少し待つようにと申し入れがありました。

和臨技オリエンテーションに、学術部ミニレクチャーとして一般検査から井上真由美技師が、生理機能検査からは佐竹理恵技師が講師として派遣します。

一泊合同研修会については、一般検査から鈴木恭子技師が、微生物検査から中家歩美技師が症例提示します。

班長会議報告を本理事会開催寸前まで行いました。報告書は後日提出します。

和臨技ホームページに勉強会資料やスライドのアップを提案各班に提案した。

◎経理部報告

総会議案書の収支報告について監査指摘された所を修正したため、挟み込み対応しました。次年度は5月末での総会開催の申し入れがあった。

◎各種委員会報告

○公益

医療セミナーin わかやまについて、日高病院新診療棟の講堂を是非使ってく

ださいとの申し入れがありました。

HIV エducator養成講座が6月から開始されます。和大でのAIDSセミナーについて進捗報告はありません。乳がんも同様に進捗報告はありません。

○精度管理

データ標準化委員会が日臨技会館であった旨の報告があった。6月25日に機関病院へ資料が配布されます。

精度保障認証施設は和歌山で2施設と少なく、増やすように申し入れがあった。

和臨技精度管理委員会から、4月間末に24年度報告書を発行しました。25年度精度管理事業も6月1日に精度管理委員会の会議を開催し今年度のスケジュールが決定される予定。

○会誌編集

25年度の会誌発行に向けたスケジュールが示された。喫緊に会誌編集委員会を開催し7月20日の理事会までにはA4サイズ化の予算化、並びに8月中の募集開始まで進めたいとの報告があった。

経理部長から、筆耕印刷費の見積もりを取る様にと申し入れがあった。

○ホームページ

会長挨拶について、新会長就任時の挨拶のままなので、一新したいと申し入れがあった。

定款関連のホームページ記載について討議した。定款と細則までに留めるべきでないかという意見があり、規約・内規は掲載必要なしと結論に至った。

また、収支決算報告書掲載義務から総会承認後掲載する事となった。

○会報

ただ今編集中です。役員自己紹介も3人残っています。速やかに書いて下さい。本日の総会特別講演・岩崎先生の資料も掲載しても良いと了解を得ております。

○連盟

連盟執行委員補佐として活動できる方を募っています。副責任者等の補佐職を数名擁立する方向で、会長と連絡を緊密にする事となった。

近日中に連盟から米坂さんのポスター(55枚)が届く予定です。

第35回和歌山県医学検査学会について

平成26年3月1日2日会期にて、那智勝浦町「熊野の宿」にて行う方向で進めております。学会長、実行委員長は未定で喫緊に第1回実行委員会を開催する予定です。

審議事項

○事務局から今年度の理事会予定と次年度総会の予定を申し入れ、承認された。

理事会予定

第3回 7月20日(土) 第16回学術部一泊合同研修会時 紀州路みなべ

第4回 9月28日(土)

第5回 11月9日(土) 医療セミナー in わかやま時

第6回 1月11日(土) 事業計画と予算審議

<p>第7回 3月1日(土) 第35回和歌山県医学検査学会前日 次年度総会 5月24日もしくは31日(日臨技総会をさける)</p> <p>○総会について 第8号議案「正会員会費増額案」については若干、紛糾の心配が有る。会長自ら説明がありますが、和臨技事業と収支決算の関係について現状は非常に厳しい状況である事、補助金に頼った事業執行が殆どである事、無料サーベイ等の継続性が必要な事、等々を訴えますが、各事業に関する質問が出た場合はその事業責任者が回答するようにと会長から指示が有った。 一部会員から、無料サーベイについて受益者負担との意見が聞こえてくる。しかし、無料で行う意義(医師会・日臨技サーベイ参加施設が不参加になる懸念はもちろん、有料化に伴い参加施設が減ってしまう危険性や、日臨技・医師会サーベイに参加できない施設を和臨技が救済するという目的が無くなってしまう)について訴えて行くべきという結論に至った。</p>					
記録作成	平成25年5月26日	氏名	田中 規仁	提出	平成25年5月26日

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可